



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月10日

上場会社名 株式会社大分銀行 上場取引所 東・福
 コード番号 8392 URL <https://www.oitabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 後藤 富一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長 兼 収益管理室長 (氏名) 池田 雄 (TEL) 097-534-1111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	57,709	△5.1	6,767	△27.5	3,615	△28.8
2020年3月期	60,805	△1.4	9,330	19.9	5,081	△11.8

(注) 包括利益 2021年3月期 15,389百万円(-%) 2020年3月期 △12,150百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	経常収益 経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	229.62	228.47	1.9	0.2	11.7
2020年3月期	322.85	289.65	2.6	0.3	15.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 -百万円 2020年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,813,669	202,746	5.3	12,855.45
2020年3月期	3,393,016	188,568	5.5	11,960.95

(参考) 自己資本 2021年3月期 202,414百万円 2020年3月期 188,271百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	341,521	△165,663	△1,256	506,083
2020年3月期	112,975	842	△12,190	331,493

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	1,259	24.8	0.6
2021年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00	1,259	34.8	0.6
2022年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		28.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,800	△10.6	3,300	31.9	2,200	56.5	139.73
通 期	51,200	△11.3	6,700	△1.0	4,500	24.5	285.81

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	16,243,634株	2020年3月期	16,243,634株
② 期末自己株式数	2021年3月期	498,184株	2020年3月期	503,082株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	15,744,559株	2020年3月期	15,738,408株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	47,360	△6.1	5,552	△32.0	2,827	△34.8
2020年3月期	50,427	△2.2	8,171	25.8	4,333	△12.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益			
	円 銭		円 銭			
2021年3月期	179.58		178.68			
2020年3月期	275.34		247.03			

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	3,796,015	186,848	4.9	11,849.93
2020年3月期	3,378,917	177,046	5.2	11,232.70

(参考) 自己資本 2021年3月期 186,582百万円 2020年3月期 176,808百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	△12.6	2,800	47.3	1,900	87.0	120.68
通期	40,800	△13.9	5,600	0.8	3,800	34.4	241.35

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 個別財務諸表	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19
5. その他	21
役員の異動について	21

※2021年3月期決算補足説明資料

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

(当期の経営成績)

2020年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から年度前半は極めて厳しい状況が続きました。後半も厳しい状況が続いたものの、年度末にかけては持ち直しました。個人消費と生産活動は年度前半に減少しましたが、後半は徐々に持ち直しました。また、公共投資は復旧工事や国土強靱化関連工事により緩やかに増加しました。設備投資と住宅投資は年度前半に弱さがみられましたが、後半は下げ止まりました。有効求人倍率も年度前半に低下が続きましたが、後半は経済活動の持ち直しに伴う求人数の増加を背景に下げ止まりました。先行きは、新型コロナウイルス感染症の影響がしだいに和らいでいくにつれ、改善基調を迎えることが見込まれます。

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から年度前半は厳しい状況が続きましたが、後半は波を伴いつつも緩やかに持ち直しました。設備投資は、製造業・非製造業ともに減少しました。生産活動は年度前半に鉄鋼業や自動車関連産業を中心に弱い動きとなりましたが、後半は自動車関連産業の回復に伴い、緩やかに持ち直しました。個人消費は一部で巣ごもり需要がみられた一方、「三密」を避ける消費行動が強まり、総じて弱い動きが続きましたが、年度末は緩やかに持ち直しました。住宅投資は、持家や貸家、分譲マンションの着工減少により、やや弱い動きとなりました。観光は新型コロナウイルス感染症の影響により年度を通じて厳しい状況が続きました。有効求人倍率は年度前半に低下が続いたものの、後半は下げ止まり、高めの水準を維持しました。公共投資は豪雨災害からの復旧工事などにより堅調に推移しました。

このような経済環境の中で、当行グループは積極的な営業活動を展開し、業績向上に努めました結果、次のような結果となりました。

連結ベースの経常収益は、有価証券利息配当金、国債等債券売却益及び貸出金利息の減少等により、前期比30億96百万円減少し、577億9百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損及び貸倒引当金繰入額が増加したものの、金融派生商品費用及び株式等償却の減少等により、前期比5億33百万円減少し、509億42百万円となりました。

この結果、経常利益は、前期比25億63百万円減少し、67億67百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の減少もあり前期比14億65百万円減少し、36億15百万円となりました。

(セグメント別業績の概況)

「銀行業」では、経常収益は、有価証券利息配当金の減少等により、前期比30億61百万円減少し、473億69百万円となりました。セグメント利益は、金融派生商品費用や株式等償却の減少等により経常費用は減少したものの、経常収益の減少により、前期比26億30百万円減少し、55億78百万円となりました。

「リース業」では、経常収益は、リース売上高の減少等により前期比46百万円減少し、82億41百万円となりました。セグメント利益は、リース売上原価の減少等により経常費用は減少したものの、経常収益の減少により前期比27百万円減少し、3億51百万円となりました。

「銀行業」、「リース業」を除く「その他」の経常収益は、役務取引等収益の増加等により、前期比6百万円増加し、30億23百万円となりました。セグメント利益は、その他経常費用の減少等により、前期比94百万円増加し、8億48百万円となりました。

(次期の見通し)

当行グループの2021年度の業績につきましては、経常収益512億円、経常利益67億円、親会社株主に帰属する当期純利益45億円を予想しております。このうち当行単体では、経常収益408億円、経常利益56億円、当期純利益38億円を予想しております。

なお、2022年3月末の日経平均株価を25,000円～34,000円、与信費用（一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額）を連結ベースで年間15億円、単体ベースで年間12億円と見込んでおります。

業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症によるお取引先等への影響など様々な要因により大きく変動する可能性があります。

(2) 財政状態の概況

(資産、負債等の状況)

・預金等

預金及び譲渡性預金の合計残高は、前連結会計年度末比 2,826 億円増加し、3兆2,948 億円となりました。

・貸出金

貸出金残高は、事業性貸出金及び個人ローンの増加により、前連結会計年度末比 741 億円増加し、1兆9,068 億円となりました。

・有価証券

有価証券残高は、その他の証券、地方債及び国債等が増加したことから、前連結会計年度末比 1,746 億円増加し、1兆2,699 億円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、預金の増加等により、3,415 億 21 百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出等により、1,656 億 63 百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、12 億 56 百万円のマイナスとなりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比 1,745 億 89 百万円増加し、5,060 億 83 百万円となりました。

(自己資本比率(国内基準))

連結自己資本比率は、10.82% (速報値) となりました。

また、当行単体では、10.01% (速報値) となりました。

なお、自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第19号)に定められた算式に基づき、連結ベースと単体ベースの双方について算出しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

○当期の配当について

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、長期的かつ安定的な経営基盤の強化と経営の効率化ならびに内部留保の充実による財務体質の強化に努めており、安定配当を継続実施していくことを利益配分の基本方針としております。

当期の配当につきましては、2020年度の業績等を総合的に勘案し、1株当たり年間配当金80円(うち中間配当金40円)とさせていただきます予定です。

○次期の配当について

次期の1株当たり年間配当金予想につきましては、安定配当という基本方針により、年間80円(うち中間40円)を予定しております。

内部留保金については、お客さまの利便性及び当行の収益性の向上、経営の効率化のための投資等に活用し、経営基盤の一層の強化を図りたいと存じます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループは、大分県を中心とした国内を主な活動拠点としていることから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、外国人株主の増加やIFRSを適用した金融機関との比較可能性などを考慮しながら判断する方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
現金預け金	337,044	512,688
買入金銭債権	3,236	3,914
金銭の信託	17,939	19,946
有価証券	1,095,311	1,269,941
貸出金	1,832,686	1,906,882
外国為替	8,361	12,609
リース債権及びリース投資資産	16,278	15,822
その他資産	52,234	48,616
有形固定資産	30,664	30,459
建物	5,327	5,236
土地	21,048	20,530
リース資産	20	25
建設仮勘定	10	16
その他の有形固定資産	4,256	4,650
無形固定資産	1,291	1,084
ソフトウェア	1,176	970
その他の無形固定資産	114	113
退職給付に係る資産	7,368	11,488
繰延税金資産	4,363	965
支払承諾見返	12,237	8,196
貸倒引当金	△25,998	△28,945
資産の部合計	3,393,016	3,813,669
負債の部		
預金	2,911,088	3,195,807
譲渡性預金	101,146	99,082
売現先勘定	18,773	—
債券貸借取引受入担保金	8,517	19,142
借入金	99,716	229,804
外国為替	187	35
その他負債	38,417	44,541
賞与引当金	1,109	1,119
退職給付に係る負債	7,023	6,725
役員退職慰労引当金	23	27
睡眠預金払戻損失引当金	1,757	1,383
繰延税金負債	—	736
再評価に係る繰延税金負債	4,448	4,319
支払承諾	12,237	8,196
負債の部合計	3,204,447	3,610,922

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	13,778	13,771
利益剰余金	140,394	143,043
自己株式	△2,279	△2,254
株主資本合計	171,491	174,159
その他有価証券評価差額金	10,899	18,093
繰延ヘッジ損益	△593	471
土地再評価差額金	8,958	8,664
退職給付に係る調整累計額	△2,483	1,025
その他の包括利益累計額合計	16,780	28,255
新株予約権	237	266
非支配株主持分	59	65
純資産の部合計	188,568	202,746
負債及び純資産の部合計	3,393,016	3,813,669

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
経常収益	60,805	57,709
資金運用収益	37,387	33,816
貸出金利息	22,406	21,241
有価証券利息配当金	14,811	12,431
コールローン利息及び買入手形利息	34	△0
預け金利息	90	137
その他の受入利息	44	5
役務取引等収益	8,821	9,113
その他業務収益	11,018	9,812
その他経常収益	3,578	4,967
償却債権取立益	0	0
その他の経常収益	3,577	4,967
経常費用	51,475	50,942
資金調達費用	968	542
預金利息	363	255
譲渡性預金利息	135	124
コールマネー利息及び売渡手形利息	51	—
売現先利息	301	68
債券貸借取引支払利息	95	39
借入金利息	21	35
その他の支払利息	0	19
役務取引等費用	2,272	2,300
その他業務費用	14,369	14,120
営業経費	29,035	29,019
その他経常費用	4,829	4,958
貸倒引当金繰入額	1,759	3,622
その他の経常費用	3,069	1,336
経常利益	9,330	6,767
特別利益	124	87
固定資産処分益	124	87
特別損失	912	530
固定資産処分損	94	75
減損損失	811	454
その他の特別損失	6	—
税金等調整前当期純利益	8,541	6,323
法人税、住民税及び事業税	3,578	3,139
法人税等調整額	△118	△433
法人税等合計	3,460	2,706
当期純利益	5,081	3,617
非支配株主に帰属する当期純利益	0	2
親会社株主に帰属する当期純利益	5,081	3,615

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,081	3,617
その他の包括利益	△17,232	11,772
その他有価証券評価差額金	△15,054	7,198
繰延ヘッジ損益	△62	1,064
退職給付に係る調整額	△2,114	3,508
包括利益	△12,150	15,389
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△12,152	15,383
非支配株主に係る包括利益	1	6

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,788	136,604	△2,327	167,663
当期変動額					
剰余金の配当			△1,258		△1,258
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,081		5,081
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△9		50	40
土地再評価差額金の 取崩			△32		△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△9	3,789	47	3,827
当期末残高	19,598	13,778	140,394	△2,279	171,491

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	25,954	△530	8,926	△369	33,981	234	57	201,937
当期変動額								
剰余金の配当								△1,258
親会社株主に帰属する 当期純利益								5,081
自己株式の取得								△2
自己株式の処分								40
土地再評価差額金の 取崩								△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15,055	△62	32	△2,114	△17,200	2	1	△17,196
当期変動額合計	△15,055	△62	32	△2,114	△17,200	2	1	△13,368
当期末残高	10,899	△593	8,958	△2,483	16,780	237	59	188,568

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,778	140,394	△2,279	171,491
当期変動額					
剰余金の配当			△1,259		△1,259
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,615		3,615
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分		△6		28	21
土地再評価差額金の取 崩			293		293
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△6	2,649	25	2,668
当期末残高	19,598	13,771	143,043	△2,254	174,159

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に係 る調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	10,899	△593	8,958	△2,483	16,780	237	59	188,568
当期変動額								
剰余金の配当								△1,259
親会社株主に帰属する 当期純利益								3,615
自己株式の取得								△3
自己株式の処分								21
土地再評価差額金の取 崩								293
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	7,194	1,064	△293	3,508	11,474	28	6	11,509
当期変動額合計	7,194	1,064	△293	3,508	11,474	28	6	14,177
当期末残高	18,093	471	8,664	1,025	28,255	266	65	202,746

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,541	6,323
減価償却費	1,935	1,878
減損損失	811	454
貸倒引当金の増減(△)	830	2,946
賞与引当金の増減額(△は減少)	84	9
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	37	670
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△132	△42
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12	3
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	194	△374
資金運用収益	△37,387	△33,816
資金調達費用	968	542
有価証券関係損益(△)	871	1,717
金銭の信託の運用損益(△は運用益)	△19	△63
為替差損益(△は益)	△123	12
固定資産処分損益(△は益)	△29	△11
貸出金の純増(△)減	7,120	△74,196
預金の純増減(△)	49,955	284,719
譲渡性預金の純増減(△)	△14,891	△2,064
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	32,306	130,087
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△6	△1,054
コールローン等の純増(△)減	4,253	△677
コールマネー等の純増減(△)	△3,329	—
債券貸借取引受入担保金の純増減(△)	3,692	10,624
外国為替(資産)の純増(△)減	△4,433	△4,247
外国為替(負債)の純増減(△)	142	△151
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△472	455
資金運用による収入	37,889	33,933
資金調達による支出	△1,037	△725
その他	24,979	△10,964
小計	112,742	345,991
法人税等の還付額	1,746	8
法人税等の支払額	△1,513	△4,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,975	341,521

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△304,952	△473,576
有価証券の売却による収入	134,787	121,993
有価証券の償還による収入	172,121	189,559
金銭の信託の増加による支出	△97	△3,060
金銭の信託の減少による収入	—	994
有形固定資産の取得による支出	△1,281	△1,819
無形固定資産の取得による支出	△425	△244
有形固定資産の売却による収入	691	510
資産除去債務の履行による支出	—	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	842	△165,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権付社債の償還による支出	△10,956	—
配当金の支払額	△1,257	△1,259
リース債務の返済による支出	△14	△15
自己株式の取得による支出	△2	△3
自己株式の売却による収入	40	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,190	△1,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	101,608	174,589
現金及び現金同等物の期首残高	229,885	331,493
現金及び現金同等物の期末残高	331,493	506,083

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行における銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービス等に係る事業を行っております。

したがって、当行グループは上記の業務別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、経常収益ベースの数字であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、一般の取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	50,241	8,119	58,361	2,470	60,831	△ 25	60,805
セグメント間の内部経常収益	189	168	358	546	904	△ 904	—
計	50,431	8,288	58,719	3,016	61,736	△ 930	60,805
セグメント利益	8,208	379	8,588	754	9,342	△ 11	9,330
セグメント資産	3,372,803	22,800	3,395,603	16,863	3,412,467	△ 19,451	3,393,016
その他の項目							
減価償却費	1,783	89	1,873	64	1,937	△ 1	1,935
資金運用収益	36,421	13	36,434	1,005	37,440	△ 52	37,387
資金調達費用	953	58	1,012	5	1,017	△ 48	968
減損損失	811	—	811	—	811	—	811
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,443	160	1,604	115	1,719	△ 1	1,718

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業務等があります。

3. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△25百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

(2) セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント資産の調整額△19,451百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

(5) 資金運用収益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去であります。

(6) 資金調達費用の調整額△48百万円は、セグメント間取引消去であります。

(7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益との調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	47,128	8,089	55,218	2,511	57,730	△ 21	57,709
セグメント間の内部経常収益	240	152	392	511	904	△ 904	—
計	47,369	8,241	55,611	3,023	58,634	△ 925	57,709
セグメント利益	5,578	351	5,930	848	6,779	△ 11	6,767
セグメント資産	3,793,592	21,581	3,815,173	17,746	3,832,919	△ 19,250	3,813,669
その他の項目							
減価償却費	1,718	95	1,813	65	1,879	△ 1	1,878
資金運用収益	32,842	12	32,855	1,010	33,865	△ 49	33,816
資金調達費用	527	55	583	5	588	△ 45	542
減損損失	454	—	454	—	454	—	454
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,033	153	2,186	34	2,220	△ 0	2,219

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業務等があります。

3. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△21百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

(2) セグメント利益の調整額△11百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント資産の調整額△19,250百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

(5) 資金運用収益の調整額△49百万円は、セグメント間取引消去であります。

(6) 資金調達費用の調整額△45百万円は、セグメント間取引消去であります。

(7) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益との調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	11,960円95銭	12,855円45銭
1株当たり当期純利益	322円85銭	229円62銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	289円65銭	228円47銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額	百万円	188,568	202,746
純資産の部の合計額から控除する金額	百万円	296	331
(うち新株予約権)	百万円	237	266
(うち非支配株主持分)	百万円	59	65
普通株式に係る期末の純資産額	百万円	188,271	202,414
1株当たり純資産額の算定に 用いられた期末の普通株式の数	千株	15,740	15,745

2. 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式数については、自己名義所有株式分を控除し算定しております。

3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	5,081	3,615
普通株主に帰属しない金額	百万円	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	5,081	3,615
普通株式の期中平均株式数	千株	15,738	15,744
潜在株式調整後1株当たり当期純利益			
親会社株主に帰属する当期純利益調整額	百万円	—	—
普通株式増加数	千株	1,804	79
うち新株予約権	千株	1,804	79
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要		—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
現金預け金	336,047	511,638
現金	35,921	33,847
預け金	300,125	477,791
買入金銭債権	3,236	3,914
金銭の信託	17,939	19,946
有価証券	1,099,559	1,274,095
国債	138,419	172,152
地方債	228,866	265,474
社債	315,415	317,363
株式	58,694	71,754
その他の証券	358,163	447,351
貸出金	1,839,189	1,912,902
割引手形	6,076	4,471
手形貸付	79,427	64,431
証書貸付	1,593,742	1,694,399
当座貸越	159,942	149,599
外国為替	8,361	12,609
外国他店預け	8,331	12,586
買入外国為替	4	—
取立外国為替	25	22
その他資産	43,184	39,788
未収収益	2,687	2,582
金融派生商品	4,437	4,619
金融商品等差入担保金	30,629	31,768
その他の資産	5,430	817
有形固定資産	29,021	28,870
建物	4,706	4,649
土地	20,251	19,733
リース資産	120	145
建設仮勘定	10	16
その他の有形固定資産	3,931	4,325
無形固定資産	1,143	954
ソフトウェア	1,035	847
その他の無形固定資産	108	107
前払年金費用	10,246	9,576
繰延税金資産	2,288	—
支払承諾見返	12,231	8,192
貸倒引当金	△23,532	△26,474
資産の部合計	3,378,917	3,796,015

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
預金	2,919,062	3,204,392
当座預金	112,476	135,363
普通預金	1,866,236	2,131,657
貯蓄預金	24,382	24,943
通知預金	5,177	5,640
定期預金	867,105	858,622
定期積金	9,709	9,541
その他の預金	33,974	38,622
譲渡性預金	105,846	103,482
売現先勘定	18,773	—
債券貸借取引受入担保金	8,517	19,142
借入金	93,556	224,367
借入金	93,556	224,367
外国為替	187	35
売渡外国為替	14	13
未払外国為替	173	22
その他負債	30,393	36,528
未決済為替借	1	0
未払法人税等	2,270	825
未払費用	880	680
前受収益	995	898
給付補填備金	1	0
金融派生商品	1,484	8,058
金融商品等受入担保金	3,058	3,271
リース債務	120	145
資産除去債務	286	416
その他の負債	21,295	22,231
賞与引当金	1,009	1,017
退職給付引当金	6,086	6,033
睡眠預金払戻損失引当金	1,757	1,383
繰延税金負債	—	271
再評価に係る繰延税金負債	4,448	4,319
支払承諾	12,231	8,192
負債の部合計	3,201,871	3,609,166

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
純資産の部		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	10,592	10,585
資本準備金	10,582	10,582
その他資本剰余金	9	3
利益剰余金	129,654	131,516
利益準備金	10,431	10,431
その他利益剰余金	119,223	121,085
固定資産圧縮積立金	112	84
別途積立金	113,830	116,830
繰越利益剰余金	5,281	4,170
自己株式	△2,279	△2,254
株主資本合計	157,565	159,445
その他有価証券評価差額金	10,878	18,000
繰延ヘッジ損益	△593	471
土地再評価差額金	8,958	8,664
評価・換算差額等合計	19,243	27,136
新株予約権	237	266
純資産の部合計	177,046	186,848
負債及び純資産の部合計	3,378,917	3,796,015

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
経常収益	50,427	47,360
資金運用収益	36,430	32,850
貸出金利息	21,451	20,277
有価証券利息配当金	14,809	12,430
コールローン利息	34	△0
預け金利息	90	137
金利スワップ受入利息	26	—
その他の受入利息	17	5
役務取引等収益	8,019	8,331
受入為替手数料	2,725	2,725
その他の役務収益	5,293	5,605
その他業務収益	2,397	1,213
商品有価証券売買益	—	0
国債等債券売却益	2,397	1,213
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	3,579	4,964
株式等売却益	2,707	4,213
金銭の信託運用益	19	63
その他の経常収益	852	687
経常費用	42,256	41,807
資金調達費用	949	524
預金利息	363	255
譲渡性預金利息	135	125
コールマネー利息	51	—
売現先利息	301	68
債券貸借取引支払利息	95	39
借用金利息	2	17
金利スワップ支払利息	—	18
その他の支払利息	0	—
役務取引等費用	2,272	2,300
支払為替手数料	955	918
その他の役務費用	1,316	1,382
その他業務費用	6,882	6,698
外国為替売買損	726	366
商品有価証券売買損	0	—
国債等債券売却損	3,382	5,466
金融派生商品費用	2,773	865
営業経費	27,605	27,548
その他経常費用	4,546	4,735
貸倒引当金繰入額	1,523	3,436
貸出金償却	0	0
株式等売却損	679	960
株式等償却	1,551	278
その他の経常費用	791	60
経常利益	8,171	5,552
特別利益	124	87
固定資産処分益	124	87
特別損失	902	528
固定資産処分損	90	73
減損損失	811	454
税引前当期純利益	7,392	5,111
法人税、住民税及び事業税	3,171	2,716
法人税等調整額	△112	△431
法人税等合計	3,059	2,284
当期純利益	4,333	2,827

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	19	10,602
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△9	△9
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の 取崩				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△9	△9
当期末残高	19,598	10,582	9	10,592

	株主資本						自己株式	株主資本 合計
	利益剰余金					利益剰余金 合計		
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計			
固定資産 圧縮積立金		別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	10,431	112	109,830	6,238	126,612	△2,327	154,484	
当期変動額								
剰余金の配当				△1,258	△1,258		△1,258	
当期純利益				4,333	4,333		4,333	
自己株式の取得						△2	△2	
自己株式の処分						50	40	
別途積立金の積立			4,000	△4,000	—		—	
土地再評価差額金の 取崩				△32	△32		△32	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	4,000	△957	3,042	47	3,080	
当期末残高	10,431	112	113,830	5,281	129,654	△2,279	157,565	

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	25,920	△530	8,926	34,316	234	189,036
当期変動額						
剰余金の配当						△1,258
当期純利益						4,333
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						40
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の 取崩						△32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△15,042	△62	32	△15,072	2	△15,070
当期変動額合計	△15,042	△62	32	△15,072	2	△11,990
当期末残高	10,878	△593	8,958	19,243	237	177,046

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	9	10,592
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△6	△6
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
固定資産圧縮積立金の取崩				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△6	△6
当期末残高	19,598	10,582	3	10,585

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,431	112	113,830	5,281	129,654	△2,279	157,565
当期変動額							
剰余金の配当				△1,259	△1,259		△1,259
当期純利益				2,827	2,827		2,827
自己株式の取得						△3	△3
自己株式の処分						28	21
別途積立金の積立			3,000	△3,000	—		—
土地再評価差額金の取崩				293	293		293
固定資産圧縮積立金の取崩		△27		27	—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△27	3,000	△1,110	1,861	25	1,880
当期末残高	10,431	84	116,830	4,170	131,516	△2,254	159,445

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	10,878	△593	8,958	19,243	237	177,046
当期変動額						
剰余金の配当						△1,259
当期純利益						2,827
自己株式の取得						△3
自己株式の処分						21
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の取崩						293
固定資産圧縮積立金の取崩						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	7,122	1,064	△293	7,893	28	7,921
当期変動額合計	7,122	1,064	△293	7,893	28	9,802
当期末残高	18,000	471	8,664	27,136	266	186,848

5. その他

役員の変動について

(2021年6月24日付)

当行は、2021年5月10日開催の取締役会において、下記のとおり、代表取締役及びその他役員の変動について決議いたしました。

記

(1) 代表取締役の変動

< 新役職名 >	< 氏 名 >	< 現役職名 >
専務取締役(代表取締役)	武 島 正 幸	[常務取締役]
専務取締役(代表取締役)	高 橋 靖 英	[常務取締役]
退任	菊 口 邦 弘	[専務取締役(代表取締役)]

(2) その他役員の変動

①新任取締役候補(監査等委員である取締役を除く)

下 ノ 村 宏 昭 (現 執行役員 市場金融部長)

②新任取締役候補(監査等委員である取締役)

相 良 雅 幸 (現 常勤監査役)
 平 川 浩 行 (現 府内産業株式会社 代表取締役)
 大 崎 美 泉 (現 非常勤取締役)
 河 野 光 雄 (現 非常勤監査役)
 大 呂 紗 智 子 (現 補欠監査役)

③退任予定取締役

姫 野 昌 治 (現 取締役会長)
 菊 口 邦 弘 (現 専務取締役(代表取締役))

④退任予定監査役

木 許 禎	(現 常勤監査役)
相 良 雅 幸	(現 常勤監査役)
岡 村 邦 彦	(現 非常勤監査役)
河 野 光 雄	(現 非常勤監査役)

※監査役は、2021年6月24日開催の定時株主総会で提案する監査等委員会設置会社への移行に伴い全員退任予定であります。なお、相良雅幸氏、河野光雄氏の2氏は、監査等委員である取締役候補として2021年6月24日開催の定時株主総会で提案予定であります。

⑤昇任予定取締役

< 新役職名 >	< 氏 名 >	< 現役職名 >
常務取締役	下 ノ 村 宏 昭	(現 執行役員 市場金融部長)

(3) 2021年6月24日以降の役員体制 (予定)

取締役頭取 (代表取締役)	後 藤 富 一 郎
専務取締役 (代表取締役)	武 島 正 幸
専務取締役 (代表取締役)	高 橋 靖 英
常務取締役	岡 松 伸 彦
常務取締役	下 ノ 村 宏 昭
取締役 (社外)	山 本 章 子
取締役 監査等委員	相 良 雅 幸
取締役 監査等委員	平 川 浩 行
取締役 監査等委員 (社外)	大 崎 美 泉
取締役 監査等委員 (社外)	河 野 光 雄
取締役 監査等委員 (社外)	大 呂 紗 智 子

以 上

新任代表取締役（専務取締役）候補の略歴

たけしま まさゆき

武島 正幸（常務取締役（営業統括副本部長））

生年月日 1960年 6月14日生

出身地 大分県

職歴 1984年 4月 大分銀行入行

2012年 6月 審査部長

2014年 6月 執行役員別府支店長

2016年 6月 常務執行役員本店営業部長

2019年 6月 常務取締役営業統括副本部長（執行役員兼務）（現職）

以上

新任代表取締役（専務取締役）候補の略歴

たかはし やすひで

高橋 靖英（常務取締役（経営戦略本部長））

生年月日 1963年 1月18日生

出身地 大分県

職歴 1985年 4月 大分銀行入行

2012年 6月 営業企画部長

2015年 6月 執行役員総合企画部長

2016年 6月 執行役員総合企画部長兼収益管理室長

2017年 6月 取締役総合企画部長兼収益管理室長（執行役員兼務）

2019年 6月 常務取締役経営戦略本部長（執行役員兼務）（現職）

以上

新任取締役（監査等委員である取締役を除く）候補の略歴

^{しものむら ひろあき}
下ノ村 宏昭 （執行役員 市場金融部長）

生年月日 1962年 8月 7日生

出身地 大分県

職 歴 1985年 4月 大分銀行入行
2007年 4月 本店営業部法人営業2課長
2008年 3月 湯布院支店長
2011年 6月 中島支店長
2013年 8月 南支店長
2015年 6月 融資部長
2017年 6月 執行役員市場金融部長(現職)

以 上

新任取締役（監査等委員である取締役）候補の略歴

^{さがら まさゆき}
相良 雅幸 （常勤監査役）

生年月日 1959年 3月27日生

出身地 長崎県

職 歴 1982年 4月 日本銀行入行
2014年 5月 同行検査室検査役
2015年 5月 同行退職
2015年 6月 大分銀行入行
2015年 6月 執行役員監査部長
2017年 6月 執行役員リスク統括部長
2020年 6月 常勤監査役(現職)

以 上

新任取締役（監査等委員である取締役）候補の略歴

ひらかわ ひろゆき
平川 浩行（府内産業株式会社 代表取締役）

生年月日 1963年 8月30日生

出身地 大分県

職 歴 1986年 4月 大分銀行入行

2006年 8月 東京支店副支店長

2009年 3月 津留支店長

2012年 6月 総合企画部副部長

2015年 6月 営業戦略部長

2016年 6月 小倉支店長

2018年 7月 府内産業株式会社 代表取締役社長（現職）

2018年 7月 株式会社オーイーシー 社外監査役（現職）

以 上

新任取締役（監査等委員である取締役）候補の略歴

おおさき よしみ
大崎 美泉（非常勤取締役）

生年月日 1954年10月20日生

出身地 大分県

職 歴 1983年 4月 別府大学専任講師

1987年 4月 大分大学経済学部助教授

1995年10月 大分大学経済学部教授

2013年10月 大分大学広報戦略担当学長補佐（至：2015年9月）

2016年 8月 大分大学経済学部学部長

2018年 6月 非常勤取締役（現職）

2019年10月 大分大学理事兼副学長

2021年 5月 大分大学副学長兼医学部教授（現職）

以 上

新任取締役（監査等委員である取締役）候補の略歴

かわの みつお
河野 光雄（非常勤監査役）

生年月日 1952年 2月 9日生

出身地 大分県

職 歴 1981年 3月 公認会計士登録

1986年 8月 河野公認会計士事務所開設（現職）

1987年 3月 税理士登録

2019年 6月 非常勤監査役（現職）

以 上

新任取締役（監査等委員である取締役）候補の略歴

おおろ さちこ
大呂 紗智子（弁護士）

生年月日 1978年 1月20日生

出身地 大分県

職 歴 2001年 4月 農林水産省入省

2003年 3月 同省退職

2010年12月 大分県弁護士会に弁護士登録

2010年12月 弁護士法人アゴラ勤務（現職）

2014年11月 特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット
理事（現職）

以 上

2021年3月期
決算補足説明資料



【 目 次 】

I 2021年3月期決算の概要

1. 損益状況	単	1
〃	連	2
2. 業務純益	単	
3. 利鞘	単	3
4. 有価証券関係損益	単	
5. 自己資本比率（国内基準）	単・連	4
6. ROE	単	

II 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況	単・連	5
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	6
3. リスク管理債権に対する引当率	単・連	
4. 金融再生法開示債権等	単	7
5. 〃	連	8
部分直接償却を実施した場合の状況	単	9
6. 業種別貸出状況等	—	10
(1) 業種別貸出金	単	
(2) 業種別リスク管理債権	単	
(3) 業種別金融再生法開示債権	単	
(4) 消費者ローン残高	単	11
(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	
7. 預金、貸出金の残高	単	
8. 役員数及び店舗数	単	
9. 業績等予想	単	12
10. 2020年度の債権放棄の金額及び放棄先	単	
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	
12. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について	単	
13. 自己査定結果について	単	
14. 貸出関係	単	13
15. 不良債権について	—	14
(1) 処理損失	単・連	
(2) 最終処理と新規発生	単	
(3) 金融支援	単	
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	15
16. 保有株式について	—	
(1) 保有株式	単	
(2) 減損処理基準	単	
《参考資料》		
当行の地域貢献に関する開示情報	単	16

※本資料に含まれる将来の見通しに関する記述については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

I 2021年3月期決算の概要

1. 損益状況

【単体】

(百万円)

		2021年3月期	2020年3月期比		2020年3月期
			増減率	金額	
業 務 粗 利 益	1	32,874		△ 3,872	36,746
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	(37,127)		(△ 604)	(37,731)
国 内 業 務 粗 利 益	3	30,942		△ 2,829	33,771
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	4	(33,986)		(△ 1,494)	(35,480)
資 金 利 益	5	28,152		△ 1,815	29,967
役 務 取 引 等 利 益	6	6,002		299	5,703
そ の 他 業 務 利 益	7	△ 3,213		△ 1,314	△ 1,899
(うち国債等債券損益)	8	(△ 3,043)		(△ 1,334)	(△ 1,709)
国 際 業 務 粗 利 益	9	1,932		△ 1,043	2,975
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	10	(3,141)		(891)	(2,250)
資 金 利 益	11	4,175		△ 1,341	5,516
役 務 取 引 等 利 益	12	27		△ 16	43
そ の 他 業 務 利 益	13	△ 2,271		314	△ 2,585
(うち国債等債券損益)	14	(△ 1,209)		(△ 1,933)	(724)
経 費 (除く臨時処理分)(△)	15	26,889		△ 516	27,405
人 件 費 (△)	16	14,372		14	14,358
物 件 費 (△)	17	10,799		△ 543	11,342
税 金 (△)	18	1,717		13	1,704
業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	19	5,985	△ 35.9	△ 3,356	9,341
コ ア 業 務 純 益	20	10,237	△ 0.9	△ 88	10,325
除く投資信託解約損益	21	7,309		625	6,684
① 一般貸倒引当金繰入額(△)	22	257		407	△ 150
業 務 純 益	23	5,727	△ 39.7	△ 3,764	9,491
うち国債等債券損益(5勘定戻)	24	△ 4,252		△ 3,268	△ 984
臨 時 損 益	25	△ 172		1,145	△ 1,317
② 不良債権処理額(△)	26	3,104		1,428	1,676
貸 出 金 償 却 (△)	27	0		0	0
個別貸倒引当金繰入額(△)	28	3,178		1,505	1,673
延滞債権等売却損(△)	29	—		—	—
債権売却損失引当金繰入額(△)	30	—		—	—
そ の 他 (△)	31	△ 74		△ 76	2
(貸倒償却引当費用①+②)(△)	32	3,361		1,836	1,525
③ 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	33	—		—	—
④ 償 却 債 権 取 立 益	34	—		—	—
株 式 等 損 益	35	2,974		2,498	476
株 式 等 売 却 益	36	4,213		1,506	2,707
株 式 等 売 却 損 (△)	37	960		281	679
株 式 等 償 却 (△)	38	278		△ 1,273	1,551
そ の 他 臨 時 損 益	39	△ 43		74	△ 117
経 常 利 益	40	5,552	△ 32.1	△ 2,619	8,171
特 別 損 益	41	△ 440		338	△ 778
うち固定資産処分損益	42	13		△ 20	33
うち減損損失(△)	43	454		△ 357	811
税 引 前 当 期 純 利 益	44	5,111	△ 30.9	△ 2,281	7,392
法人税、住民税及び事業税(△)	45	2,716		△ 455	3,171
法 人 税 等 調 整 額 (△)	46	△ 431		△ 319	△ 112
法 人 税 等 合 計 (△)	47	2,284		△ 775	3,059
当 期 純 利 益	48	2,827	△ 34.8	△ 1,506	4,333
(ご参考)					
与信費用(①+②-③-④)(△)	49	3,361		1,836	1,525

(注) 1. 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 不良債権処理額の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金繰入額を計上しております。

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(百万円)

		2021年3月期		2020年3月期
			2020年3月期比	
連 結 粗 利 益	1	35,777	△ 3,839	39,616
資 金 利 益	2	33,273	△ 3,145	36,418
役 務 取 引 等 利 益	3	6,812	264	6,548
そ の 他 業 務 利 益	4	△4,308	△ 958	△3,350
営 業 経 費	5	29,019	△ 16	29,035
貸 倒 償 却 引 当 費 用	6	3,576	1,785	1,791
貸 出 金 償 却	7	19	△ 1	20
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	8	3,379	1,519	1,860
延 滞 債 権 等 売 却 損	9	9	0	9
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	10	242	342	△100
そ の 他	11	△74	△ 76	2
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	12	—	—	—
償 却 債 権 取 立 益	13	0	0	0
株 式 等 損 益	14	2,982	2,505	477
持 分 法 に よ る 投 資 損 益	15	—	—	—
そ の 他	16	602	540	62
経 常 利 益	17	6,767	△ 2,563	9,330
特 別 損 益	18	△ 443	345	△ 788
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	19	6,323	△ 2,218	8,541
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	20	3,139	△ 439	3,578
法 人 税 等 調 整 額	21	△ 433	△ 315	△118
法 人 税 等 合 計	22	2,706	△ 754	3,460
当 期 純 利 益	23	3,617	△ 1,464	5,081
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	24	2	2	0
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	25	3,615	△ 1,466	5,081

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+(役務取引等収益-役務取引等費用)

+(その他業務収益-その他業務費用)

2. 貸倒償却引当費用の「その他」は、信用保証協会の責任共有制度に係る引当金繰入額を計上しております。

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	8	0	8
持分法適用会社数	0	0	0

2. 業務純益【単体】

(百万円)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒繰入前)	5,985	△ 3,356	9,341
従業員一人当たり(千円)	3,674	△ 1,963	5,637
(2) 業務純益	5,727	△ 3,764	9,491
従業員一人当たり(千円)	3,515	△ 2,212	5,727

(注)従業員数は、出向者及び嘱託、臨時雇員を含んでおりません。

3. 利鞘 (全店) 【単体】 (%)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	1.00	△ 0.19	1.19
(イ) 貸出金利回	1.08	△ 0.09	1.17
(ロ) 有価証券利回	1.03	△ 0.29	1.32
(2) 資金調達原価 (B)	0.79	△ 0.12	0.91
(イ) 預金等利回	0.01	0.00	0.01
(ロ) 外部負債利回	0.00	△ 0.08	0.08
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.21	△ 0.07	0.28

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

利鞘 (国内) 【単体】 (%)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
(1) 資金運用利回 (A)	0.88	△ 0.13	1.01
(イ) 貸出金利回	1.06	△ 0.06	1.12
(ロ) 有価証券利回	0.93	△ 0.20	1.13
(2) 資金調達原価 (B)	0.78	△ 0.10	0.88
(イ) 預金等利回	0.01	0.00	0.01
(ロ) 外部負債利回	0.00	0.00	0.00
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.10	△ 0.03	0.13

(注)外部負債利回は、コールマネー及び借入金の合算利回であります。

4. 有価証券関係損益 【単体】 (百万円)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
国債等債券損益 (5勘定戻)	△ 4,252	△ 3,268	△ 984
売却益	1,213	△ 1,184	2,397
償還益	—	—	—
売却損	5,466	2,084	3,382
償還損	—	—	—
償却	—	—	—
株式等損益 (3勘定戻)	2,974	2,498	476
売却益	4,213	1,506	2,707
売却損	960	281	679
償却	278	△ 1,273	1,551

5. 自己資本比率(国内基準)

【単体】

(億円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
	[速報値]	2020年9月末比	2020年3月末比		
(1) 自己資本比率	10.01%	△ 0.07%	0.00%	10.08%	10.01%
(2) 単体における自己資本の額	1,567	12	21	1,555	1,546
(3) リスク・アセットの額	15,652	234	204	15,418	15,448
(4) 単体総所要自己資本額	626	10	9	616	617

【連結】

(億円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
	[速報値]	2020年9月末比	2020年3月末比		
(1) 連結自己資本比率	10.82%	△ 0.05%	0.06%	10.87%	10.76%
(2) 連結における自己資本の額	1,715	17	30	1,698	1,685
(3) リスク・アセットの額	15,855	234	201	15,621	15,654
(4) 連結総所要自己資本額	634	10	8	624	626

6. ROE【単体】

(%)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
業務純益ベース	3.15	△ 2.04	5.19
当期純利益ベース	1.55	△ 0.82	2.37

(算式)

業務純益(当期純利益)

$$\frac{\text{業務純益(当期純利益)}}{\{(期首純資産額 - 期首新株予約権) + (期末純資産額 - 期末新株予約権)\} \div 2} \times 100$$

(ご参考) 株主資本ROE【単体】

(%)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
当期純利益ベース	1.78	△ 0.99	2.77

(算式)

当期純利益

$$\frac{\text{当期純利益}}{(期首株主資本合計 + 期末株主資本合計) \div 2} \times 100$$

Ⅱ 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施（前・後）

未収利息不計上基準（破綻懸念先以下は不計上）

【単体】

(百万円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
リスク管理債権	破綻先債権	1,649	△ 241	△ 42	1,890	1,691
	延滞債権	43,575	2,782	3,293	40,793	40,282
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	510	△ 258	△ 265	768	775
	合計	45,736	2,283	2,987	43,453	42,749

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.08	△ 0.02	△ 0.01	0.10	0.09
	延滞債権	2.27	0.11	0.08	2.16	2.19
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.39	0.09	0.07	2.30	2.32

【連結】

(百万円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
リスク管理債権	破綻先債権	1,861	△ 205	△ 10	2,066	1,871
	延滞債権	43,793	2,732	3,241	41,061	40,552
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	511	△ 258	△ 265	769	776
	合計	46,166	2,269	2,967	43,897	43,199

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.09	△ 0.01	△ 0.01	0.10	0.10
	延滞債権	2.29	0.11	0.08	2.18	2.21
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.42	0.09	0.07	2.33	2.35

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
貸倒引当金	26,474	1,186	2,942	25,288
一般貸倒引当金	3,243	144	257	3,099
個別貸倒引当金	23,230	1,041	2,684	22,189
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—

特定債務者支援引当金	—	—	—	—	—
------------	---	---	---	---	---

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

【連結】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
貸倒引当金	28,945	1,160	2,947	27,785
一般貸倒引当金	3,713	154	242	3,559
個別貸倒引当金	25,232	1,006	2,705	24,226
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—

債権売却損失引当金	—	—	—	—	—
-----------	---	---	---	---	---

3. リスク管理債権に対する引当率

【単体】

(%)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
部分直接償却前	57.88	△ 0.31	2.84	58.19
部分直接償却後				

【連結】

(%)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
部分直接償却前	62.69	△ 0.60	2.51	63.29
部分直接償却後				

4. 金融再生法開示債権等

【単体】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,383	△ 257	3,640	3,956
危険債権	46,195	2,821	43,374	42,350
要管理債権	510	△ 258	768	775
小計 (A)	50,090	2,307	47,783	47,082
正常債権	1,884,118	18,557	1,865,561	1,817,013
合計	1,934,209	20,864	1,913,345	1,864,095

(%)

総 与 信 残 高 比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.17	△ 0.02	△ 0.04	0.19	0.21
	危険債権	2.38	0.12	0.11	2.26	2.27
	要管理債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.58	0.09	0.06	2.49	2.52

○金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
保全額 (B)	46,512	2,033	44,479	43,422
貸倒引当金	23,354	1,149	22,205	20,570
特定債務者引当金	—	—	—	—
担保保証等	23,157	883	22,274	22,851

(%)

保全率 (B) / (A)	92.8	△ 0.2	0.6	93.0	92.2
---------------	------	-------	-----	------	------

○自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況 (総与信ベース)

【単体】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	46,195	20,543	25,652	22,327	87.0%
実質破綻先	1,733	1,589	143	143	100.0%
破綻先	1,650	891	759	759	100.0%
合計	49,579	23,023	26,555	23,230	87.4%

○金融再生法に基づく開示債権の保全・引当情報

【単体】

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	3,383	46,195	510	50,090
担保等による保全額 B	2,480	20,543	133	23,157
貸倒引当金 C	903	22,327	124	23,354
保全引当率 D=(B+C)/A	100.0%	92.8%	50.4%	92.8%

5. 金融再生法開示債権等

【連結】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,002	△ 310	4,312	4,633
危険債権	47,216	2,731	44,485	43,535
要管理債権	525	△ 257	782	797
小計 (A)	51,744	2,164	49,580	48,966
正常債権	1,907,519	18,837	1,888,682	1,840,860
合計	1,959,264	21,002	1,938,262	1,889,827

(%)

総 与 信 残 高 比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.20	△ 0.02	△ 0.04	0.22	0.24
	危険債権	2.40	0.11	0.10	2.29	2.30
	要管理債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.64	0.09	0.05	2.55	2.59

○金融再生法開示債権の保全状況

【連結】

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比		
保全額 (B)	47,386	1,947	45,439	44,359
貸倒引当金	24,176	1,049	23,127	21,465
特定債務者引当金	—	—	—	—
担保保証等	23,210	898	22,312	22,894

(%)

保全率 (B) / (A)	91.5	△ 0.1	1.0	91.6	90.5
---------------	------	-------	-----	------	------

○自己査定に基づく個別貸倒引当金引当状況

【連結】

(百万円)

	貸出金等の残高 A	担保等の保全額 B	回収が懸念される額 C (A-B)	個別貸倒引当金 D	引当率 (D/C)
破綻懸念先	47,216	20,545	26,670	22,576	84.6%
実質破綻先	2,033	1,606	426	426	99.9%
破綻先	1,969	924	1,044	1,044	100.0%
合計	51,218	23,076	28,142	24,047	85.4%

○金融再生法に基づく開示債権の保全・引当情報

【連結】

(百万円)

	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理債権	合計
債権残高 A	4,002	47,216	525	51,744
担保等による保全額 B	2,531	20,545	133	23,210
貸倒引当金 C	1,471	22,576	128	24,176
保全引当率 D = (B+C) / A	99.9%	91.3%	49.9%	91.5%

部分直接償却を実施した場合の状況

《部分直接償却》

自己査定により回収不能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

当行は「部分直接償却」を行っていないためIV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

リスク管理債権

【単体】

(百万円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
			2020年9月末比			2020年3月末比
リスク管理債権	破綻先債権	899	△ 62	△ 38	961	937
	延滞債権	43,490	3,000	3,638	40,490	39,852
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	510	△ 258	△ 265	768	775
	合計	44,901	2,681	3,336	42,220	41,565

部分直接償却額	835	△ 397	△ 348	1,232	1,183
---------	-----	-------	-------	-------	-------

貸出金残高（未残）	1,912,067	25,800	74,062	1,886,267	1,838,005
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.04	△ 0.01	△ 0.01	0.05	0.05
	延滞債権	2.27	0.13	0.11	2.14	2.16
	3ヵ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.34	0.11	0.08	2.23	2.26

金融再生法開示債権

【単体】

(百万円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
			2020年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,499	141	△ 223	2,358	2,722
危険債権	46,195	2,821	3,845	43,374	42,350
要管理債権	510	△ 258	△ 265	768	775
小計	49,205	2,704	3,357	46,501	45,848
正常債権	1,884,118	18,557	67,105	1,865,561	1,817,013
合計	1,933,324	21,261	70,463	1,912,063	1,862,861

部分直接償却額	884	△ 398	△ 350	1,282	1,234
---------	-----	-------	-------	-------	-------

(%)

総与信残高比	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.12	0.00	△ 0.02	0.12	0.14
	危険債権	2.38	0.12	0.11	2.26	2.27
	要管理債権	0.02	△ 0.02	△ 0.02	0.04	0.04
	合計	2.54	0.11	0.08	2.43	2.46

6. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金 【単体】

(百万円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	1,912,902	25,402	73,713	1,887,500	1,839,189
製造業	132,623	△ 6,208	4,386	138,831	128,237
農業・林業	2,993	8	131	2,985	2,862
漁業	4,067	△ 183	△ 222	4,250	4,289
鉱業・採石業・砂利採取業	617	△ 89	△ 62	706	679
建設業	49,000	4,938	7,949	44,062	41,051
電気・ガス・熱供給・水道業	67,764	△ 4	420	67,768	67,344
情報通信業	11,361	539	1,581	10,822	9,780
運輸業・郵便業	63,946	△ 5,152	△ 3,345	69,098	67,291
卸売業・小売業	135,862	2,179	5,074	133,683	130,788
金融業・保険業	79,157	1,610	△ 83	77,547	79,240
不動産業・物品賃貸業	243,989	634	△ 457	243,355	244,446
各種サービス業	233,349	△ 4,825	25,491	238,174	207,858
地方公共団体	297,078	12,082	2,070	284,996	295,008
その他	591,096	19,873	30,780	571,223	560,316

(2) 業種別リスク管理債権 【単体】

(百万円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	45,736	2,283	2,987	43,453	42,749
製造業	2,567	66	111	2,501	2,456
農業・林業	25	△ 15	6	40	19
漁業	700	28	44	672	656
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	1,174	627	539	547	635
電気・ガス・熱供給・水道業	2,131	340	2,130	1,791	1
情報通信業	—	—	—	—	—
運輸業・郵便業	2,027	△ 61	△ 114	2,088	2,141
卸売業・小売業	15,353	193	△ 240	15,160	15,593
金融業・保険業	391	△ 11	△ 25	402	416
不動産業・物品賃貸業	4,874	936	1,150	3,938	3,724
各種サービス業	7,964	△ 23	△ 799	7,987	8,763
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	8,525	202	186	8,323	8,339

(3) 業種別金融再生法開示債権 【単体】

(百万円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定)	50,090	2,307	3,008	47,783	47,082
製造業	2,567	64	106	2,503	2,461
農業・林業	25	△ 15	6	40	19
漁業	701	29	45	672	656
鉱業・採石業・砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	1,174	626	537	548	637
電気・ガス・熱供給・水道業	2,131	340	2,130	1,791	1
情報通信業	—	—	—	—	—
運輸業・郵便業	2,027	△ 61	△ 114	2,088	2,141
卸売業・小売業	16,562	220	△ 212	16,342	16,774
金融業・保険業	3,486	△ 11	△ 25	3,497	3,511
不動産業・物品賃貸業	4,874	936	1,150	3,938	3,724
各種サービス業	7,964	△ 23	△ 799	7,987	8,763
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	8,574	201	185	8,373	8,389

(4) 消費者ローン残高 **【単体】** (百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
	2020年9月末比	2020年3月末比			
消費者ローン残高	603,972	25,499	37,176	578,473	566,796
うち住宅ローン残高	546,601	24,659	37,922	521,942	508,679
うちその他ローン残高	57,371	840	△ 746	56,531	58,117

(5) 中小企業等貸出残高及び貸出比率 **【単体】** (百万円、%)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
	2020年9月末比	2020年3月末比			
中小企業等貸出残高	1,372,494	25,158	79,129	1,347,336	1,293,365
中小企業等貸出比率	71.74	0.36	1.42	71.38	70.32

7. 預金、貸出金の残高 **【単体】** (百万円)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
	2020年9月末比	2020年3月末比			
預金等(未残)(含むNCD)	3,307,875	68,898	282,966	3,238,977	3,024,909
預金等(平残)(含むNCD)	3,230,379	30,934	228,046	3,199,445	3,002,333
貸出金(未残)	1,912,902	25,402	73,713	1,887,500	1,839,189
貸出金(平残)	1,871,128	12,449	45,099	1,858,679	1,826,029

8. 役職員数及び店舗数

(1) 役職員数(期末人員) **【単体】** (人)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
	2020年9月末比	2020年3月末比			
役員数	12	0	0	12	12
従業員数	1,597	△ 31	△ 24	1,628	1,621

(注)従業員数は、出向者及び嘱託、臨時雇用を含んでおりません。

(2) 店舗数 **【単体】** (店)

	2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
	2020年9月末比	2020年3月末比			
国内本支店	93	0	0	93	93
海外支店	0	0	0	0	0
駐在員事務所	1	0	0	1	1

9. 業績等予想

【単体】

(百万円)

	2021年3月期 直近予想	2021年3月期 実績	2021年9月期 予想	2022年3月期 予想
経常収益	45,600	47,360	20,700	40,800
経常利益	5,400	5,552	2,800	5,600
当期(中間)純利益	3,300	2,827	1,900	3,800
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	5,700	5,985	3,000	6,000
一般貸倒引当金繰入	△ 100	257	0	0
業務純益	5,800	5,727	3,000	6,000
貸出金関係損失(含む一般貸倒引当金繰入)	2,600	3,361	600	1,200
貸出金関係損失(除く一般貸倒引当金繰入)	2,700	3,104	600	1,200

10. 2020年度の債権放棄の金額及び放棄先

【単体】

(百万円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
	2020年9月末比	2020年3月末比			
債権放棄先	0件	0件	0件	0件	0件
債権放棄額	—	—	—	—	—

11. 系列ノンバンク向け融資残高

(百万円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
	2020年9月末比	2020年3月末比			
2社合計	6,473	△ 195	△ 535	6,668	7,008

12. 連結子会社、関連ノンバンクの引当不足について

連結子会社、関連ノンバンクに引当不足はございません。

また、当行は連結子会社、関連ノンバンクに対し、金融支援を行っておりません。

13. 自己査定結果について

自己査定結果及び債権分類(率)の状況【単体】(速報ベース)

(百万円)

	2021年3月末		2020年9月末		2020年3月末	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
総与信残高	1,922,360	100.00%	1,901,601	100.00%	1,852,852	100.00%
非分類額	1,687,661	87.79%	1,668,634	87.74%	1,620,021	87.43%
分類額合計	234,698	12.20%	232,966	12.25%	232,830	12.56%
Ⅱ分類	231,373	12.03%	230,267	12.10%	229,785	12.40%
Ⅲ分類	3,325	0.17%	2,699	0.14%	3,045	0.16%
Ⅳ分類	—	—	—	—	—	—

(注) 総与信残高・・・貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返。

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高です。

非分類額・・・Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類・・・回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類・・・最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類・・・回収不可能又は無価値と判定される資産。

14. 貸出関係

○不良債権・問題債権残高及び不良債権引当額

【単体】

(百万円)

	不良債権・問題債権残高（自己査定）				
	①破綻先・ 実質破綻先	②破綻懸念先	①と②の合計	③要注意先	①～③の合計
2020年3月末	3,956	42,350	46,307	238,565	284,872
2020年9月末	3,640	43,374	47,015	249,627	296,642
2021年3月末	3,383	46,195	49,579	254,077	303,657

(百万円)

	不良債権残高(金融再生法基準)		不良債権引当額	
	④要管理債権	合計	個別貸倒引当金 純繰入額	個別・一般貸倒 引当金純繰入額
2020年3月末	775	47,082	1,673	1,523
2020年9月末	768	47,783	1,643	1,756
2021年3月末	510	50,090	3,178	3,436

(注) 1. 不良債権・問題債権残高は総与信ベースで、非分類債権を含む。

2. 不良債権残高(金融再生法基準)の合計額は、要管理債権と危険債権、破産更生債権及びこれらに準ずる債権の合計額。

○最終処理額(2021年3月期)

【単体】

①売却(ファンドへの債権譲渡含む)	506 百万円
②直接償却	0 百万円
③その他(回収、債務者の業況改善など)	2,305 百万円
④合計	2,811 百万円

(注) 不良債権の最終処理額は、不良債権をオフバランス化した元本の額であります。

○新規発生状況(2021年3月期)

【単体】

①正常先からの発生額	3,822 百万円
②要注意先(要管理先を除く)からの発生額	2,005 百万円
③要管理先からの発生額	260 百万円
④合計	6,088 百万円

(注) 新規発生分の不良債権残高は、新たに破綻懸念先(金融再生法基準では危険債権)以下に分類された債権の残高であります。

○2020年4月～2021年3月の倒産先の状況

【単体】

(百万円)

債務者区分	件数	与信額
正常先	9	243
要注意先	0	—
要管理先	0	—
破綻懸念先	0	—
破綻・実質破綻先	2	266
合計	11	509

(注) 債務者区分は2020年3月末時点のものであります。

15. 不良債権について

(1) 処理損失

【単体】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2020年3月期	△ 2	17	15
2021年3月期	2	31	33
期初見込額	△ 5	12	7
2022年3月期予想	0	12	12

*不良債権処理額は個別貸倒引当金純繰入額、貸出金償却など臨時損益段階の合計。

【連結】

(億円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額	総与信費用 ①+②
2020年3月期	△ 1	19	18
2021年3月期	2	33	35
期初見込額	△ 4	15	11
2022年3月期予想	0	15	15

(2) 最終処理と新規発生

①残高比較

【単体】

(億円)

	2020年3月末 ①	新規増加	期中減少		2021年3月末 ②	増減②-①
			オフバランス化	債権区分の移動		
破産更生等債権	39	7	13	—	33	△ 6
危険債権	423	53	14	0	461	38
計	463	61	28	0	495	32

②オフバランス化の内訳

【単体】

(億円)

	2020年度通期 オフバランス実績	2021年度通期 オフバランス計画
清算型処理	—	—
再建型処理	—	—
債権流動化	5	6
RCC向け売却	—	—
直接償却	0	—
その他	23	19
回収・返済	14	15
業況改善	8	4
合計	28	25

(3) 金融支援

【単体】

金融支援の該当先はありません。

(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

【単体】

	2021年3月末		2020年3月末	
	割合	金額	割合	金額
実質破綻先・破綻先債権	無担保部分の100.00%	9 億円	無担保部分の100.00%	12 億円
破綻懸念先債権	無担保部分の 87.03%	223 億円	無担保部分の 86.34%	192 億円
要管理先債権	債権額の 24.27%	1 億円	債権額の 3.15%	0 億円
その他要注意先債権	債権額の 0.90%	23 億円	債権額の 1.18%	28 億円
正常債権	債権額の 0.05%	7 億円	債権額の 0.01%	1 億円

自己査定における区分		引 当 基 準
実 質 破 綻 先	破 綻 先	担保・保証で保全されていない部分に対し、100%の個別貸倒引当金を計上。
破綻懸念先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を担保・保証で保全されていない部分から控除した金額を、個別貸倒引当金として計上。
	一 般 先	担保・保証で保全されていない部分に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、個別貸倒引当金として計上。
要管理先	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を、一般貸倒引当金として計上。
	一 般 先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。
そ の 他 要 注 意 先	先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。
正 常	先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上。

D C F法の対象先の選定基準は以下のとおりであります。

- 破綻懸念先 …担保・保証で保全されていない部分が1億円以上の先。
- 要管理先 …債権額10億円以上の先。

16. 保有株式について

(1) 保有株式

【単体】

(億円)

	取得原価	時価ベース
2020年3月末	486	586
2020年9月末	472	598
2021年3月末	485	717

(2) 減損処理基準

【単体】

30%以上50%未満の下落率だった場合の対応

- ①一律で損失計上
- ②いいえの場合→

はい / いいえ

<回復可能性の有無の判断基準>

金融商品会計に関する実務指針に基づき当行が制定した基準に該当するものについては減損処理しております。

当行の地域貢献に関する開示情報

1. 大分県内向け貸出金残高、貸出金比率

(単位：億円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
大分県内向け貸出金残高 (A)	14,793	328	626	14,465	14,167
大分県外向け貸出金残高 (B)	4,336	△ 74	112	4,410	4,224
総貸出金残高 (C)	19,129	254	738	18,875	18,391
大分県内向け貸出金比率 (A)/(C)	77.3%	0.7%	0.3%	76.6%	77.0%

2. 大分県内向け業種別貸出金残高、貸出件数

(1) 大分県内向け業種別貸出金残高

(単位：億円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
製造業	787	△ 15	62	802	725
建設業	448	41	78	407	370
卸・小売業	902	29	73	873	829
金融・保険業	89	△ 5	△ 10	94	99
不動産業・物品賃貸業	1,680	△ 13	21	1,693	1,659
各種サービス業	1,958	26	98	1,932	1,860
地公体	2,323	102	18	2,221	2,305
個人	5,242	229	337	5,013	4,905
その他	1,364	△ 66	△ 51	1,430	1,415
合計	14,793	328	626	14,465	14,167

(2) 大分県内向け業種別貸出件数

(単位：先)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末
		2020年9月末比	2020年3月末比		
製造業	816	23	32	793	784
建設業	1,514	118	132	1,396	1,382
卸・小売業	1,510	72	111	1,438	1,399
金融・保険業	35	1	3	34	32
不動産業・物品賃貸業	1,834	12	20	1,822	1,814
各種サービス業	2,964	239	434	2,725	2,530
地公体	20	0	0	20	20
個人	95,775	△ 236	△ 3,633	96,011	99,408
その他	678	43	60	635	618
合計	105,146	272	△ 2,841	104,874	107,987

3. 中小企業等貸出金残高、貸出金比率、貸出件数

(単位：億円、先)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
中小企業等貸出金残高	(A)	13,724	251	791	13,473	12,933
総貸出金残高	(B)	19,129	254	738	18,875	18,391
中小企業等貸出金比率	(A)/(B)	71.7%	0.4%	1.4%	71.3%	70.3%
貸出件数		108,506	315	△ 2,845	108,191	111,351

(注) 1. 貸出金残高には、特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

2. 中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品貸貸業は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品貸貸業は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社及び個人であります。

4. 大分県内の信保付(大分県信用保証協会保証付)貸出金残高

(単位：億円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
当行の大分県内信保付貸出金残高	(A)	910	118	464	792	446
大分県信用保証協会保証債務残高	(B)	2,599	335	1,320	2,264	1,279
大分県全体に占める 当行の信保付貸出金の割合	(A)/(B)	35.0%	0.0%	0.1%	35.0%	34.9%

5. 大分県内向け個人貸出金残高(含む住宅ローン)、貸出金比率、貸出件数

(1) 大分県内向け個人貸出金残高、貸出金比率

(単位：億円)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
無担保ローン残高	(A)	541	11	△ 4	530	545
有担保ローン残高	(B)	5,215	225	344	4,990	4,871
個人ローン残高	(A)+(B)=(C)	5,756	236	340	5,520	5,416
総貸出金残高	(D)	14,793	328	626	14,465	14,167
個人貸出金比率	(C)/(D)	38.9%	0.7%	0.7%	38.2%	38.2%

(2) 大分県内向け個人貸出金件数

(単位：件)

		2021年3月末		2020年9月末	2020年3月末	
		2020年9月末比	2020年3月末比			
無担保ローン件数	(A)	142,932	△ 1,205	△ 5,384	144,137	148,316
有担保ローン件数	(B)	29,595	655	965	28,940	28,630
個人ローン件数	(A)+(B)	172,527	△ 550	△ 4,419	173,077	176,946



決算ハイライト

2021年3月期決算について

目次

1. 2021年3月期決算の概要	P. 1
2. 2021年3月期 単体損益の状況	P. 2
3. 業務粗利益・資金利益の状況	P. 3
4. 与信費用・不良債権の状況	P. 4
5. 貸出金の状況	P. 5
6. 総預金の状況	P. 6
7. 有価証券の状況	P. 7
8. 2022年3月期 業績予想	P. 8

(注) 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

(注) 本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

1. 2021年3月期連結経営成績

	2021年3月期	2020年3月期	増減
連結経常収益	57,709	60,805	▲ 3,096
連結経常利益	6,767	9,330	▲ 2,563
親会社株主に帰属する当期純利益	3,615	5,081	▲ 1,466

(単位：百万円)

直近予想	予想比	
55,900	3.2%	1,809
6,400	5.7%	367
4,000	▲ 9.6%	▲ 385

(参考) 2022年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期	2021年3月期	増減
連結経常収益	51,200	57,709	▲ 6,509
連結経常利益	6,700	6,767	▲ 67
親会社株主に帰属する当期純利益	4,500	3,615	885

2. 2021年3月期経営成績

	2021年3月期	2020年3月期	増減
経常収益	47,360	50,427	▲ 3,067
(コア業務純益)	10,237	10,325	▲ 88
経常利益	5,552	8,171	▲ 2,619
当期純利益	2,827	4,333	▲ 1,506

(単位：百万円)

直近予想	予想比	
45,600	3.9%	1,760
8,300	23.3%	1,937
5,400	2.8%	152
3,300	▲ 14.3%	▲ 473

(参考) 2022年3月期業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期	2021年3月期	増減
経常収益	40,800	47,360	▲ 6,560
(コア業務純益)	5,800	10,237	▲ 4,437
経常利益	5,600	5,552	48
当期純利益	3,800	2,827	973

3. 自己資本比率

	2021年3月末	2020年3月末	増減
連結	10.82%	10.76%	0.06%
単体	10.01%	10.01%	0.00%

4. 配当の状況（基準日ベース）

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
中間配当金	3円50銭 ^{※1}	40円00銭	40円00銭	40円00銭
期末配当金	45円00銭	40円00銭	40円00銭	40円00銭 ^{※2}
年間配当	— ^{※1}	80円00銭	80円00銭	80円00銭 ^{※2}
配当性向	23.6%	25.6%	29.1%	44.5% ^{※2}

(※1) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、中間配当金については、当該株式併合前の配当額を記載し、2017年度の年間配当については「—」として記載しております。(※2) 予想数値

- (1) 当期決算は、連結・単体ともに4期ぶりの減収減益となりました。
- (2) 当行単体で、一般企業の売上高に当たる経常収益は、前期と比べ、株式等売却益が増加したものの、有価証券利息配当金、国債等債券売却益及び貸出金利息が減少したことにより、前期比30億67百万円減少しました。
- (3) 経常費用は、国債等債券売却損及び与信費用が増加しましたが、金融派生商品費用及び株式等償却の減少等により、前期比4億49百万円減少しました。
- (4) この結果、経常利益は、前期比26億19百万円減少しました。当期純利益は特別損失（減損損失）の減少もあり、前期比15億6百万円の減少となりました。
- (5) 自己資本比率は、単体で2020年3月末と同水準の10.01%となりました。
- (6) 2022年3月期の業績は、単体で、経常収益408億円、経常利益56億円、当期純利益38億円と前期比減収増益となる見込みです。

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2020年3月期比	増減率	2020年 3月期
経常収益 ①	47,360	▲ 3,067	▲ 6.1%	50,427
コア業務粗利益 ②	37,127	▲ 604	▲ 1.6%	37,731
資金利益	32,328	▲ 3,155		35,483
資金運用収益	32,850	▲ 3,580		36,430
資金調達費用	524	▲ 425		949
役員取引等利益	6,030	283		5,747
役員取引等収益	8,331	312		8,019
役員取引等費用	2,300	28		2,272
その他業務利益(除く5勘定戻)	▲ 1,232	2,267		▲ 3,499
その他業務収益(//)	0	0		0
その他業務費用(//)	1,232	▲ 2,267		3,499
経費(除く臨時費用処理分) ③	26,889	▲ 516		27,405
コア業務純益(②-③) ④	10,237	▲ 88	▲ 0.9%	10,325
除く投資信託解約損益	7,309	625		6,684
与信費用 ⑤	3,361	1,836		1,525
一般貸倒引当金繰入額	257	407		▲ 150
個別貸倒引当金繰入額	3,178	1,505		1,673
その他	▲ 74	▲ 76		2
有価証券関係損益 ⑥	▲ 1,277	▲ 769		▲ 508
国債等債券損益(5勘定戻)	▲ 4,252	▲ 3,268		▲ 984
株式等損益(3勘定戻)	2,974	2,498		476
その他臨時損益 ⑦	▲ 43	74		▲ 117
経常利益(④-⑤+⑥+⑦) ⑧	5,552	▲ 2,619	▲ 32.1%	8,171
特別損益	▲ 440	338		▲ 778
うち減損損失	454	▲ 357		811
税引前当期純利益	5,111	▲ 2,281		7,392
法人税等合計	2,284	▲ 775		3,059
当期純利益 ⑨	2,827	▲ 1,506	▲ 34.8%	4,333

【主な増減要因等】

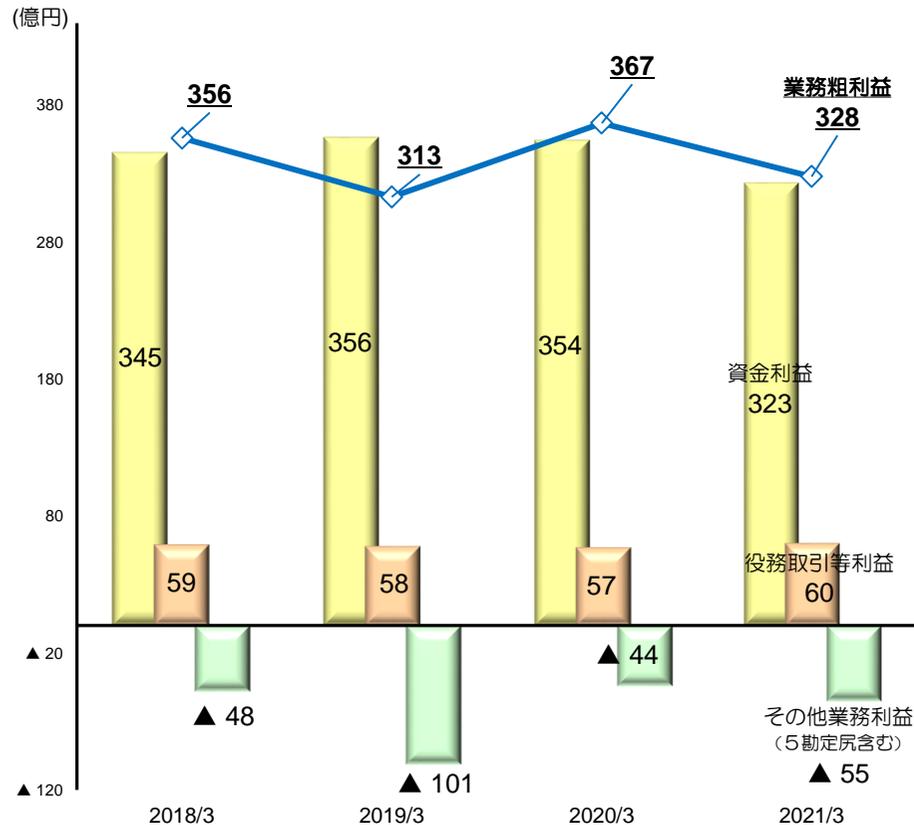
①経常収益 (前期比▲3,067百万円)	有価証券利息配当金、国債等債券売却益及び貸出金利息の減少により減収。
②コア業務粗利益 (前期比▲604百万円)	その他業務利益(除く5勘定戻)及び役員取引等利益が増加したものの、資金利益が減少したことから減少。
③経費 (前期比▲516百万円)	経費の削減に取り組んだ結果、物件費が減少。
④コア業務純益 (前期比▲88百万円)	経費の減少をコア業務粗利益の減少が上回ったことから、本業部分の収益指標は減少。
⑤与信費用 (前期比+1,836百万円)	お取引先の債務者区分の変動等により個別貸倒引当金繰入額が増加し不良債権処理額が増加。 一般貸引繰入額 +407百万円(2020/3対比) 個別貸引繰入額 +1,505百万円(//)
⑥有価証券関係損益 (前期比▲769百万円)	(2020/3対比) 国債等債券売却益 ▲1,184百万円(減益要因) 国債等債券売却損 +2,084百万円(減益要因) 株式等売却益 +1,506百万円(増益要因) 株式等売却損 +281百万円(減益要因) 株式等償却 ▲1,273百万円(増益要因)
⑧経常利益 (前期比▲2,619百万円)	コア業務純益の減少に加え、与信費用の増加及び有価証券関係損益の減少により減益。
⑨当期純利益 (前期比▲1,506百万円)	経常利益の減少等により、当期純利益は減益。

【資金運用収益の主な増減要因】

(単位：百万円)

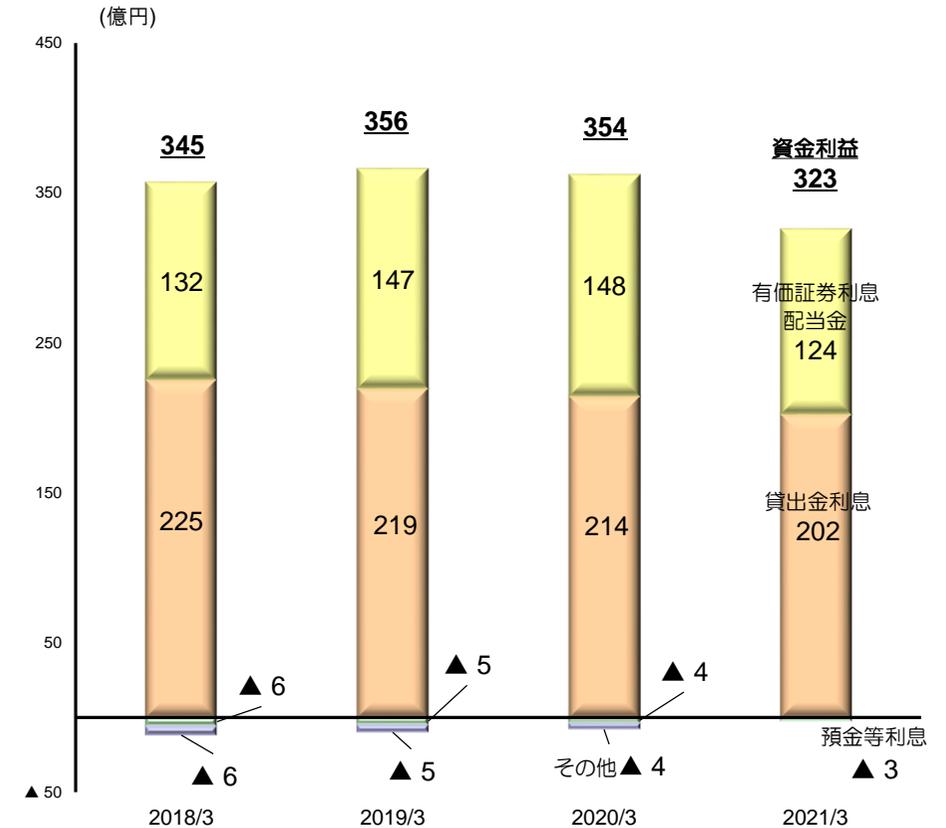
資金運用収益	▲ 3,580	
貸出金利息	▲ 1,174	(平残要因) 488
有価証券利息配当金	▲ 2,379	(利回要因) ▲ 1,662
		(平残要因) 867
		(利回要因) ▲ 3,246

業務粗利益推移



1. 資金利益は、有価証券利息配当金及び貸出金利息の減少等により、前期比31億円減少し、323億円となりました。
2. 役員取引等利益は、預り資産関連手数料及びビジネスマッチング手数料の増加により役員取引等収益が増加したことから、前期比3億円増加しました。
3. その他業務利益は、国債等債券損益(5勘定戻)の減少により前期比11億円減少しました。ポートフォリオの良質化を目的にリバランスを実施したことが要因です。

資金利益の内訳推移

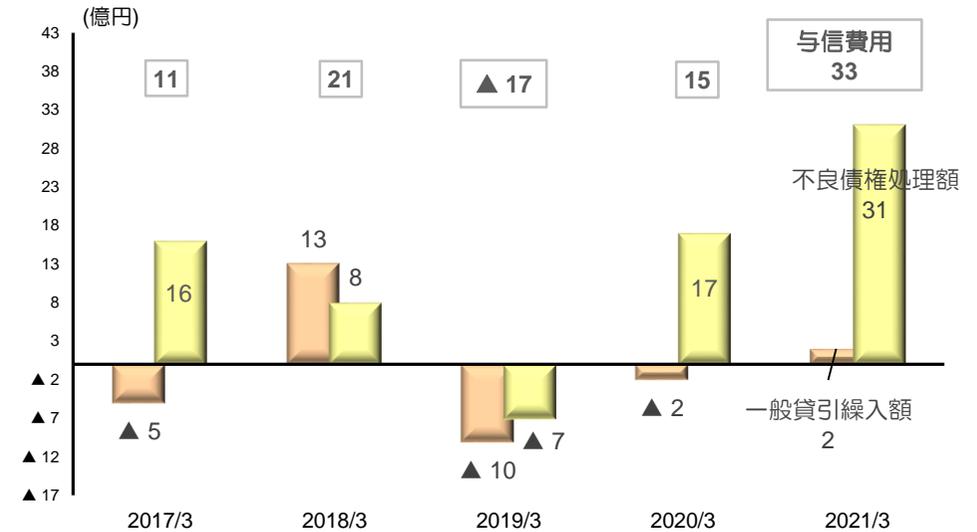


4. 貸出金利息は、地域密着化戦略の推進により事業性貸出金の積み上げを行いました。日銀のマイナス金利政策の継続及び米国の利下げ等の影響により、前期比12億円減少し、202億円となりました。
5. 有価証券利息配当金は、有価証券利回りの低下により前期比24億円減少し、124億円となりました。
6. 預金等利息は、前期比1億円減少し、3億円となりました。

与信費用

	(単位：百万円)		
	2021年3月期	2020年3月期	増減
与信費用	3,361	1,525	1,836
一般貸倒引当金繰入額	257	▲150	407
不良債権処理額	3,104	1,676	1,428
貸出金償却	0	0	0
個別貸倒引当金繰入額	3,178	1,673	1,505
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	▲74	2	▲76
貸倒引当金戻入益	—	—	—
償却債権取立益	—	—	—

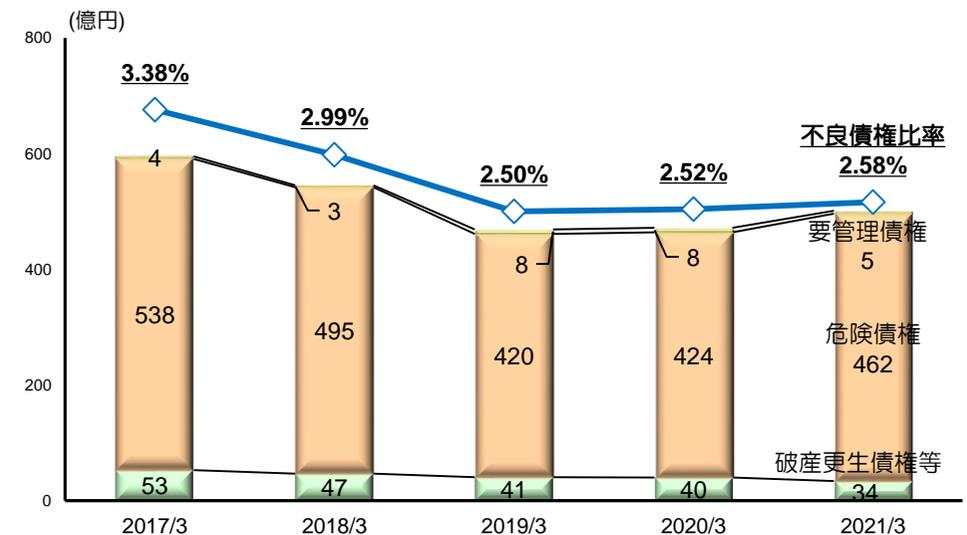
(注) 与信費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益



- 一般貸倒引当金繰入額は、貸出金残高の増加等により、2億57百万円の繰入となりました。
- 個別貸倒引当金繰入額は、お取引先の債務者区分の変動等により、31億78百万円の繰入となりました。

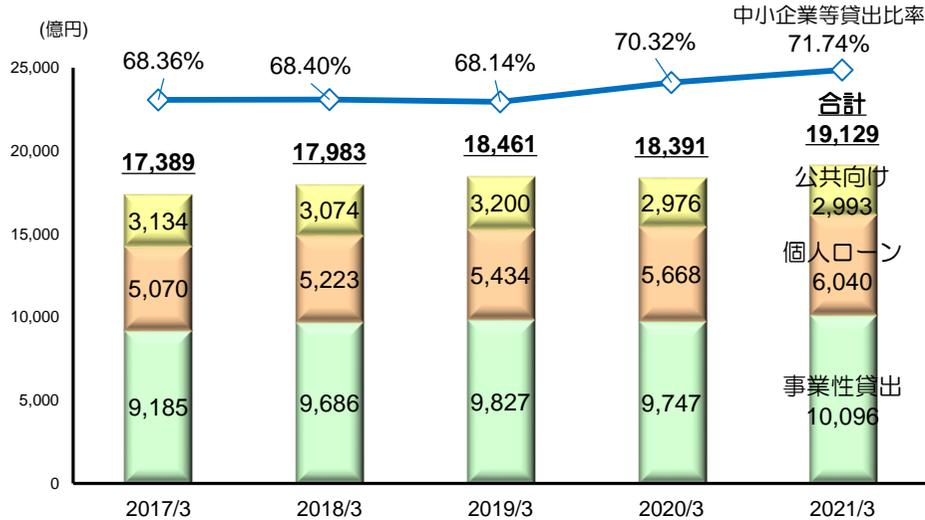
金融再生法開示債権

	(単位：百万円)		
	2021年3月末	2020年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,383	3,956	▲573
危険債権	46,195	42,350	3,845
要管理債権	510	775	▲265
小計	50,090	47,082	3,008
正常債権	1,884,118	1,817,013	67,105
合計	1,934,209	1,864,095	70,114
不良債権比率(%)	2.58	2.52	0.06

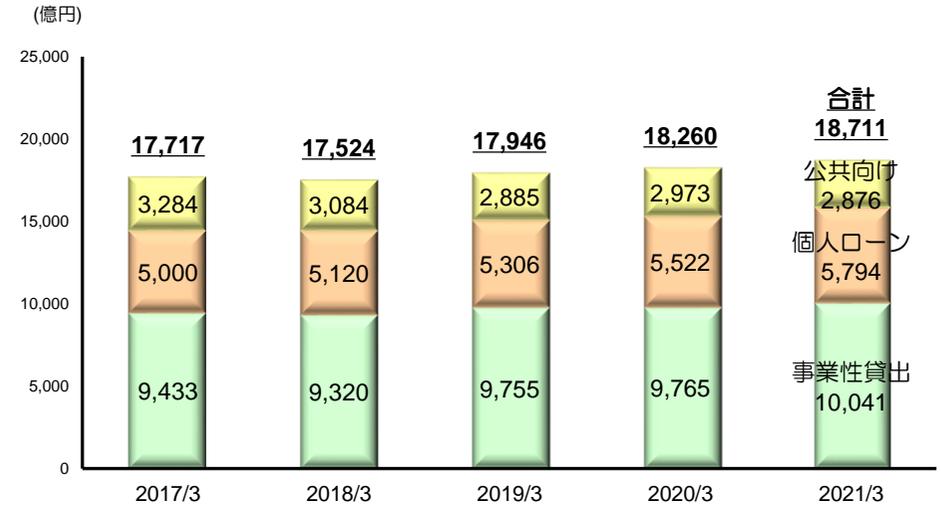


- 金融再生法開示債権残高は、前期末比で30億8百万円増加し、500億90百万円となりました。
- 不良債権比率は、前期末比0.06%上昇し、2.58%となりました。

貸出金末残推移



貸出金平残推移



	2021年 3月末	2020年9月末比				2020年 9月末	2020年 3月末
		2020年9月末比		2020年3月末比			
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	19,129	1.3%	254	4.0%	738	18,875	18,391
事業性貸出金	10,096	▲ 1.3%	▲ 133	3.5%	349	10,229	9,747
県内	6,715	▲ 0.2%	▲ 20	4.2%	274	6,735	6,441
県外	3,381	▲ 3.2%	▲ 113	2.2%	75	3,494	3,306
個人ローン	6,040	4.4%	255	6.5%	372	5,785	5,668
公共向け	2,993	4.6%	132	0.5%	17	2,861	2,976

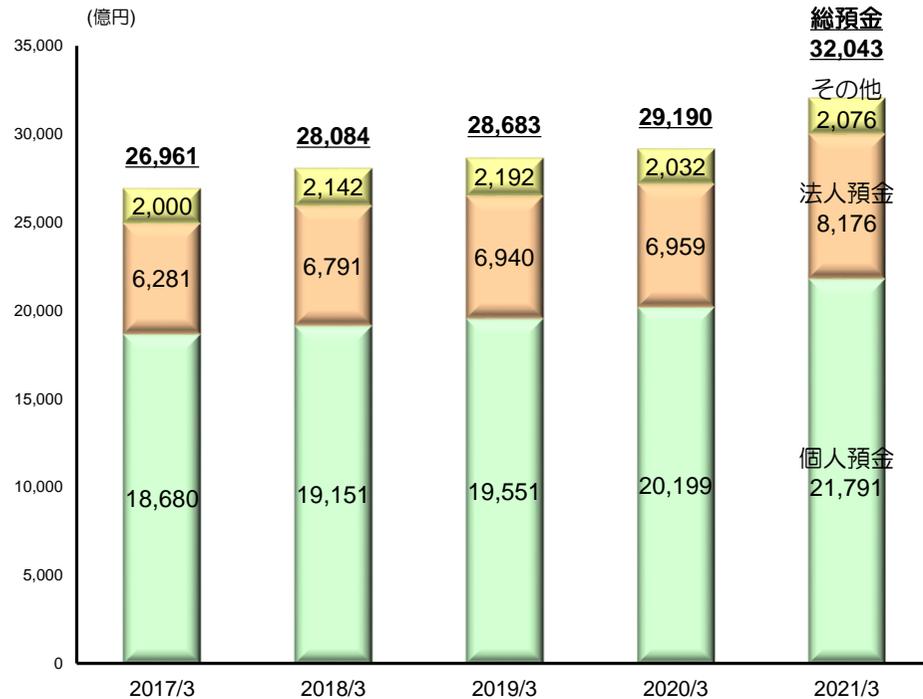
	2021年 3月末	2020年9月末比				2020年 9月末	2020年 3月末
		2020年9月末比		2020年3月末比			
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	18,711	0.6%	125	2.4%	451	18,586	18,260
事業性貸出金	10,041	0.4%	43	2.8%	276	9,998	9,765
県内	6,679	1.3%	88	5.4%	346	6,591	6,333
県外	3,362	▲ 1.3%	▲ 45	▲ 2.0%	▲ 70	3,407	3,432
個人ローン	5,794	1.6%	95	4.9%	272	5,699	5,522
公共向け	2,876	▲ 0.4%	▲ 13	▲ 3.2%	▲ 97	2,889	2,973

- 貸出金は、事業性貸出金及び個人ローンの増加等により、前期末比738億円増加し、1兆9,129億円（増加率4.0%）となりました。
- 個人ローンは、住宅ローンが増加したことから、前期末比372億円増加し、6,040億円（増加率6.5%）となりました。
- 貸出金平残では、前期末比451億円増加し、1兆8,711億円（増加率2.4%）となりました。
- 中小企業等貸出残高は、地域密着化戦略の推進により前期末比791億円増加し、1兆3,724億円となりました。

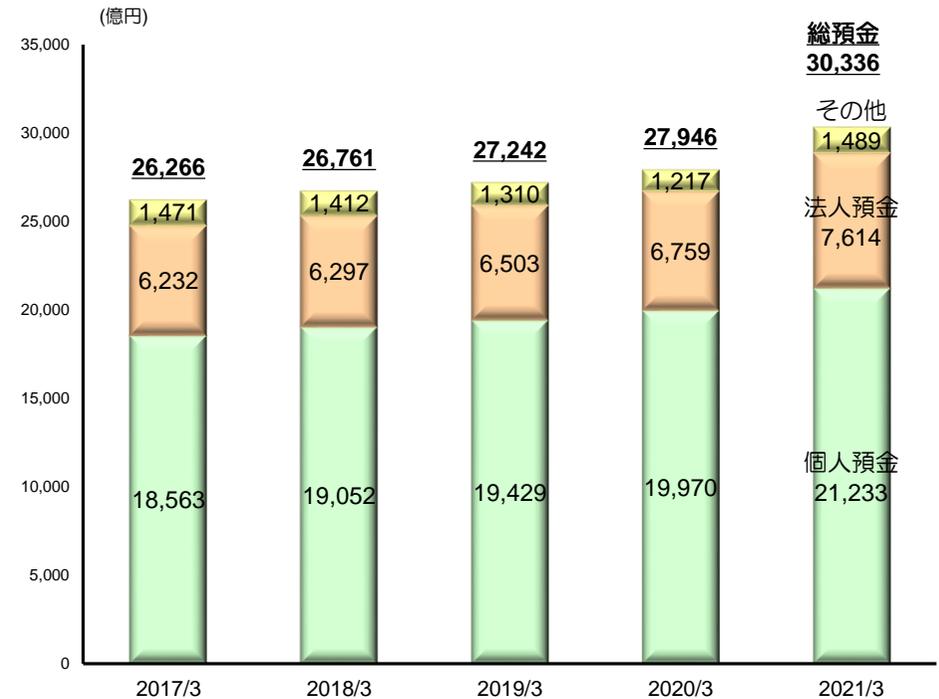
【ご参考】	2021年3月末	2020年9月末比	2020年3月末比	2020年9月末	2020年3月末
中小企業等貸出残高(億円)	13,724	251	791	13,473	12,933
中小企業等貸出比率(%)	71.7	0.4	1.4	71.3	70.3

※中小企業等とは、資本金が3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社及び個人です。

総預金末残推移



総預金平残推移



(単位：億円)

	2021年 3月末	2020年9月末比		2020年3月末比		2020年 9月末	2020年 3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
		総預金	32,043	4.8%	1,486		
個人預金	21,791	2.9%	620	7.8%	1,592	21,171	20,199
法人預金	8,176	5.0%	393	17.4%	1,217	7,783	6,959
その他	2,076	29.5%	473	2.1%	44	1,603	2,032
預金等	33,078	2.1%	689	9.3%	2,829	32,389	30,249

(単位：億円)

	2021年 3月末	2020年9月末比		2020年3月末比		2020年 9月末	2020年 3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
		総預金	30,336	1.4%	424		
個人預金	21,233	1.6%	342	6.3%	1,263	20,891	19,970
法人預金	7,614	3.0%	227	12.6%	855	7,387	6,759
その他	1,489	▲8.8%	▲145	22.3%	272	1,634	1,217
預金等	32,303	0.9%	309	7.5%	2,280	31,994	30,023

1. 総預金末残は、個人預金・法人預金の増加により、前期末比2,853億円増加し、3兆2,043億円（増加率9.7%）となりました。
2. 譲渡性預金を加えた預金等では、前期末比2,829億円増加し、3兆3,078億円（増加率9.3%）となりました。
3. 預金等平残も、前期末比2,280億円増加し、3兆2,303億円（増加率7.5%）となりました。

有価証券未残

(単位：億円)

	2021年3月末			2020年9月末	2020年3月末
	2020年9月末比	2020年3月末比			
有価証券	12,740	217	1,745	12,523	10,995
国債	1,721	122	337	1,599	1,384
地方債	2,655	▲ 63	366	2,718	2,289
社債	3,174	▲ 114	20	3,288	3,154
株式	717	118	130	599	587
その他	4,473	154	892	4,319	3,581
外国証券	2,363	97	391	2,266	1,972
投資信託等	2,110	57	501	2,053	1,609

1. 有価証券は、前期末比1,745億円増加し、1兆2,740億円となりました。

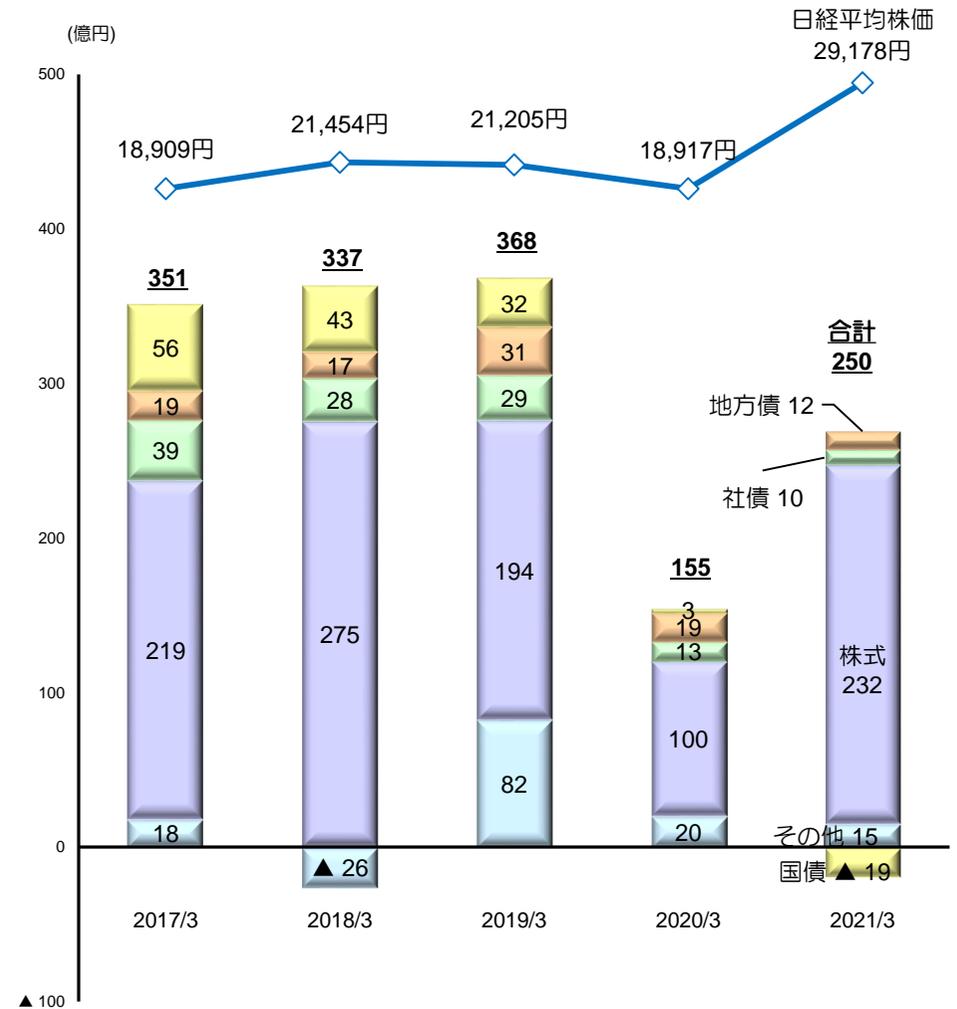
有価証券の評価損益

(単位：億円)

	2021年3月末			2020年3月末			増減 評価損益 (A)-(B)
	評価損益 (A)	評価損益		評価損益 (B)	評価損益		
		評価益	評価損		評価益	評価損	
有価証券	250	362	112	155	257	102	95
株式	232	239	7	100	124	24	132
債券	3	33	30	35	47	12	▲ 32
その他	15	90	75	20	84	64	▲ 5
外国証券	9	42	33	22	42	20	▲ 13
投資信託等	6	48	42	▲ 2	42	44	8

2. 日経平均株価の上昇に伴い株式の評価益が増加したことから、有価証券の評価損益は前期末比95億円増加し、250億円のプラスとなりました。

有価証券評価損益推移



【単体】

(単位：億円)

	2022年3月期予想	2021年3月期実績	増 減
経常収益	408	473	▲ 65
コア業務粗利益	332	371	▲ 39
資金利益	291	323	▲ 32
役務取引等利益	53	60	▲ 7
その他業務利益(除く5勘定戻)	▲ 12	▲ 12	0
経費(除く臨時費用処理分)	274	269	5
コア業務純益	58	102	▲ 44
業務純益	60	57	3
国債等債券損益(5勘定戻)	2	▲ 43	45
株式等損益(3勘定戻)	4	29	▲ 25
与信費用	12	33	▲ 21
うち一般貸倒引当金繰入額	0	2	▲ 2
うち不良債権処理額	12	31	▲ 19
経常利益	56	55	1
当期純利益	38	28	10

【連結】

(単位：億円)

	2022年3月期予想	2021年3月期実績	増 減
経常収益	512	577	▲ 65
経常利益	67	67	0
親会社株主に帰属する当期純利益	45	36	9

経常収益：前期比▲65億円

有価証券利息配当金、貸出金利息及び株式等売却益の減少等により減収となる見込み。

コア業務粗利益：前期比▲39億円

有価証券利息配当金等の資金利益の減少及び役務取引等利益の減少により減少する見込み。

コア業務純益：前期比▲44億円

コア業務粗利益の減少に加えて経費の増加により減少する見込み。

与信費用：前期比▲21億円

2021年3月期において、33億円の積み増しを行ったことから、2022年3月期は減少する見込み。

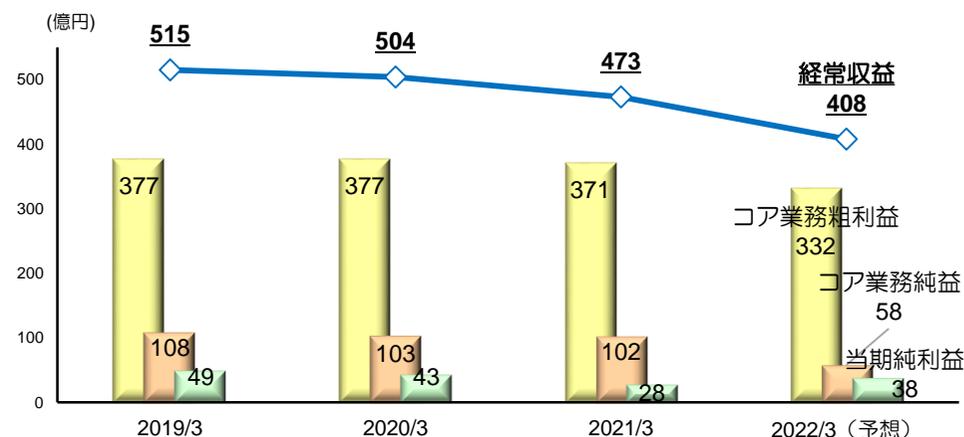
なお、2022年3月期も引き続きお取引先への積極的な資金対応を実施致します。

経常利益：前期比+1億円

コア業務純益は減少するものの、国債等債券損益(5勘定戻)の増加及び与信費用の減少により増益の見込み。

当期純利益：前期比+10億円

経常利益の増加に加えて、減損損失及び法人税等の減少により、増益の見込み。



※業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。